

修正前（2/24 時点）

（情報管理と情報公開）

- 第 7 条 市は、市政情報を適正に管理し、市民に対し正確な情報を速やかに、かつ、わかりやすく公開、提供するよう努めなければならない。
- 2 市は、市民誰もが市政に関する政策過程の各段階における情報に容易に接することができるよう努めなければならない。
- 3 市は、市政情報の管理及び公開の取扱い及び個人情報の適正な取扱いについて審議又は審査する機関を設置する。
- 4 市政情報の管理及び公開に関して必要な事項は、別に条例で定める。
- 5 個人情報の保護に関して必要な事項は、別に条例で定める。

【解説】

本条は、市政に関する情報の管理、公開について定めています。

市政に対する市民それぞれがもつ意見は、市政をめぐる様々な情報から生まれます。「情報なくして参加なし」ともいいます。

第 1 項では、正確かつ速やかでわかりやすい情報の公開と提供を規定し、第 2 項では、市民誰もが市政に関する情報に容易に接することが出来るよう規定しています。第 3 項は、氷見市情報公開・個人情報保護審査会の設置を規定しています。第 4 項は「氷見市情報公開条例」、第 5 項は「氷見市個人情報保護条例」を指します。

修正後（3/9 時点）

（情報公開と情報共有）

- 第 7 条 市は、市民の知る権利を尊重し、市政情報を原則として公開するよう努めなければならない。
- 2 市は、市民との市政情報の共有に努めなければならない。
- 3 市政情報の管理及び公開の取扱い及び個人情報の適正な取扱いについて審議又は審査する機関の設置に関して必要な事項は、別に条例で定める。
- 4 市政情報の管理及び公開に関して必要な事項は、別に条例で定める。
- 5 個人情報の保護に関して必要な事項は、別に条例で定める。

【解説】

本条は、市政に関する情報の公開と共有について定めています。

市政に対する市民それぞれがもつ意見は、市政をめぐる様々な情報から生まれます。（「情報なくして参加なし」ともいわれます。）

第 1 項では、市民の知る権利を明記し、市政情報が原則として公開であることを規定しています。第 2 項では、市政情報の共有について規定しています。市からの情報提供（発信）を市民が受け止めることで情報が共有されたこととなります。したがって、市は、女性や子ども、障がいのある方、社会的に弱い立場にある市民であっても誰もが市政に関する情報に容易に接することが出来るよう、情報を提供する対象者への配慮（文字の大きさ、表現方法、提供方法など）を行い、情報を受け止めやすくする工夫が必要です。第 3 項は「氷見市情報公開・個人情報保護審査会条例」、第 4 項は「氷見市情報公開条例」、第 5 項は「氷見市個人情報保護条例」を指します。

<第 18 回検討委員会からの修正案>

条文構成

第 7 条 （情報公開と情報共有）

第 1 項・・・市民の知る権利、市政情報の原則公開

第 2 項・・・市政情報の共有

第 3 項・・・「氷見市情報公開・個人情報保護審査会条例」

第 4 項・・・「氷見市情報公開条例」

第 5 項・・・「氷見市個人情報保護条例」

（情報公開と情報共有）

第 7 条 市は、市民の知る権利を尊重し、市政情報を原則として公開するよう努めなければならない。

2 市は、市民との市政情報の共有に努めなければならない。

3 市政情報の管理及び公開の取扱い及び個人情報の適正な取扱いについて審議又は審査する機関の設置に関して必要な事項は、別に条例で定める。

4 市政情報の管理及び公開に関して必要な事項は、別に条例で定める。

5 個人情報の保護に関して必要な事項は、別に条例で定める。

1 修正のポイント

（１）条文全体

・簡潔に

（２）第 1 項

・「市民の知る権利」を明記

・「管理、公開、提供」→「原則公開」に絞って規定

（３）第 2 項

・「提供」に絞って規定

（４）第 3 項、第 4 項、第 5 項

・個別条例があることがわかるように規定。

・文言を「…に関して必要な事項は、別に条例で定める。」に統一。

2 残された課題

（１）指摘事項

・条文の主語「市は」が不明確ではないか。

（参考）第 7 条案における「市」…行政（執行機関）、議会（会議録 p 16）

（２）対応案

・条例全体をとおして、検討していく。

∴叩き台第 22 条では「市民、議会及び市」という記述もあり、使用する用語が条例内で矛盾することがないよう全体として確認する必要があるため。